



（写真）Higssfields “2026年1～6月の中国とベネズエラの貿易統計を確認”

中国とベネズエラの貿易取引

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

マ ドゥロ政権下では政治的に緊密な関係を維持していた中国とベネズエラだが、ロドリゲス暫定政権が発足してから両者の政治的な関係は希薄になった。この政治的な関係がベネズエラと中国の貿易取引にどのような影響を与えているのだろうか。

本稿では、2026年1～6月の中国とベネズエラの貿易取引を確認し、暫定政権発足後の両国の貿易実績を確認したい。ただし、原油・石油製品の輸入額は制裁回避を目的とした迂回取引により、実態が把握できない。そのため原油・石油製品以外の統計となる。

貿易総額（原油除く）は33.5億ドル超

2026前期の中国・ベネズエラ貿易は、「中国のベネズエラからの輸入（原油などを含む「鉱物性燃料」除く）」が前年同期比81.5%増の6億281万ドル。

「中国のベネズエラ向け輸出」が同12.3%増の27億5140万ドル。

「貿易総額（輸出と輸入の合計）」は、同20.6%増の33億5421万ドルとなり、政治関係の変化とは対照的に、輸入・輸出ともに貿易額は拡大している（次ページの表参照）。

26年前期の両国の貿易取引は中国側の貿易黒字で同1.4%増の21億4860万ドルとなった。

中国のベネズエラ向け輸出額は輸入額の4.6倍に達しており、貿易構造は引き続き中国側の大幅な輸出超過となっている。ただし、この倍率は前年同期の7.4倍からは低下した。

中国のベネズエラからの輸入が大きく伸びたことで、不均衡は若干縮小する方向にある。

ただし、冒頭で触れた通り、中国によるベネズエラからの輸入額の中には、鉱物性燃料の輸入額が含まれていない。

あくまで鉱物性燃料を除いた場合の貿易収支である点は注意されたい。

鉱物関連品が輸入の9割を占める

次に「中国のベネズエラからの輸入」の内訳を確認したい（表は次ページ参照）。

中国のベネズエラからの輸入額（原油・石油製品除く）は6億0281万ドルで、前年同期比81.5%増。2023年前期の1億7136万ドルと比べると、3年で約3.5倍に拡大している。

最大品目は「鉱石、スラグ及び灰」で輸入額は3億8522万ドル、前年同期比136.5%増となった。同品目だけで輸入全体の63.9%を占める。

また、輸入総額の前年同期からの増加額2億7076万ドルのうち、同品目の増加分は2億2233万ドルで、輸入増の大部分（82.1%）を占めている。

表：中国とベネズエラの貿易取引総額

項目	2025年前期	2026年前期	前年同期比
中国のベネズエラからの輸入	3億3205万ドル	6億281万ドル	81.5%増
中国のベネズエラ向け輸出	24億5033万ドル	27億5140万ドル	12.3%増
貿易総額	27億8237万ドル	33億5421万ドル	20.6%増
中国側の貿易黒字	21億1828万ドル	21億4860万ドル	1.4%増

表：中国のベネズエラからの輸入額推移

（単位：千ドル、％）

項目	2023年		2024年		2025年		2026年		前年 同期比
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	割合	
鉱石、スラグ及び灰	45,212	62,495	157,505	133,398	162,891	429,049	385,224	63.9	136.5
鉄鋼	591	16,428	70	0	0	6,541	84,792	14.1	全増
銅及びその製品	33,508	41,292	50,178	38,032	50,880	53,068	76,511	12.7	50.4
有機化学品	61,402	45,721	40,600	72,682	77,634	154,178	31,248	5.2	△ 59.7
アルミニウム及びその製品	10,250	23,744	8,215	3,040	7,361	4,913	15,363	2.5	108.7
木材、その製品並びに木炭	4,435	5,460	7,426	11,409	6,814	12,176	5,407	0.9	△ 20.6
魚並びに甲殻類、軟体動物	15,283	10,310	14,699	14,317	25,563	937	2,966	0.5	△ 88.4
ココア及びその調製品	0	0	0	8	622	83	386	0.1	△ 37.9
ラック並びにガム、樹脂	223	420	105	151	145	363	307	0.1	111.7
各種の化学工業生産品	0	73	67	100	77	214	181	0.0	135.1
その他	455	797	349	376	60	1,892	423	0.1	605.0
合計	171,359	206,740	279,214	273,513	332,047	663,414	602,808	100.0	81.5

（出所）International Trade Center

次いで、2025年前期には実績がなかった「鉄鋼」が8479万ドルに増加し、全体の14.1%を占めた。

「銅及びその製品」も前年同期比50.4%増の7651万ドルとなった。

これら上位3品目だけで輸入額全体の90.7%を占めている。したがって、中国のベネズエラからの輸入は、主に鉱物関連品といえる。

一方、「有機化学品（前年同期比59.7%減の3125万ドル）」、「魚並びに甲殻類、軟体動物（同88.4%減の297万ドル）」など減少が目立つ品目もある。

特に「有機化学品」は、2025年後期に1億5418万ドルまで増えていたが、2026年前期にはその約5分の1へ減少した。

なお、2026年前期の輸入額は前年同期比では81.5%増だが、2025年後期の6億6341万ドルと比べると9.1%減少している。その意味では、ベネズエラからの輸入拡大は2025年後期の時点から始まっていたと言える。

新車販売の好調で自動車関連品の輸出増

次に「中国のベネズエラ向け輸出」の内訳を確認したい（表は次ページ参照）。

中国のベネズエラ向け輸出額は27億5140万ドルとなり、前年同期比12.3%増。2023年前期の14億1136万ドルと比べると、ほぼ2倍に増えた。

最大品目は「自動車及びその部分品等」で、前年同期比34.7%増の5億1862万ドル。輸出全体に占める割合は18.8%だった。

また、前年同期からの輸出増加額3億0108万ドルのうち、同品目の増加額は1億3357万ドルで、輸出増加全体の44.4%を占めた。

「ベネズエラ自動車商工会（Cavenez）」によると、2026年1～6月の新車販売台数は前年同期比66.8%増の2万5173台だった（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1399」](#)）。

多くのブランドが販売台数を増やしているが、中でも「JAC Motors」「Changan」など中国系ブランドの勢いは増している。新車販売の好調が同品目の輸出増を後押ししていると言える。

これに続くのが、「原子炉、ボイラー及び機械類」の4億7880万ドル、「電気機器、音声再生機等」の3億5233万ドル。

自動車、機械、電気機器の上位3品目を合わせると13億4974万ドルとなり、輸出総額の49.1%を占める。

表：中国のベネズエラ向け輸出額推移

（単位：千ドル、％）

項目	2023年		2024年		2025年		2026年		前年 同期比
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	割合	
自動車及びその部分品等	185,926	288,670	316,795	371,392	385,045	429,419	518,616	18.8	34.7
原子炉、ボイラー及び機械類	205,386	310,915	384,281	421,310	422,516	593,874	478,800	17.4	13.3
電気機器、音声再生機等	159,923	307,673	317,468	383,300	319,886	383,399	352,328	12.8	10.1
プラスチック及びその製品	115,362	120,405	154,913	163,230	196,114	234,080	184,298	6.7	△ 6.0
ゴム及びその製品	74,163	92,875	87,890	88,295	97,538	106,735	122,348	4.4	25.4
鉄鋼	23,684	28,693	36,624	56,530	62,800	112,195	100,672	3.7	60.3
鉄鋼製品	60,941	70,284	78,059	102,525	101,583	120,232	110,885	4.0	9.2
家具、寝具、照明器具等	46,995	75,596	82,593	82,225	73,314	72,908	81,652	3.0	11.4
有機化学品	24,733	34,531	42,868	51,996	44,181	55,364	50,449	1.8	14.2
光学機器、写真用機器等	35,133	37,331	58,458	63,696	57,954	77,607	51,273	1.9	△ 11.5
その他	479,109	672,225	677,563	781,045	689,396	696,645	700,083	25.4	1.6
合計	1,411,355	2,039,198	2,237,512	2,565,544	2,450,327	2,882,458	2,751,404	100.0	12.3

（出所）International Trade Center

自動車、機械、電気機器以外にも、鉄鋼やゴム製品なども増加しており、中国からベネズエラへの輸出は、特定の一品目だけでなく、比較的広い範囲で拡大している。

暫定政権発足後も（原油除）貿易は拡大

2026年前期は、ロドリゲス暫定政権発足後の最初の半年間に当たる。

この間、中国とベネズエラの政治的な関係はマドゥロ政権当時と比べて希薄になったものの、貿易統計上は両国間の取引が縮小した形跡はみられない。

中国のベネズエラからの輸入額（鉱物性燃料除く）は前年同期比81.5%増、中国のベネズエラ向け輸出額も同12.3%増加した。

このため、暫定政権発足後の政治関係の変化は、少なくとも2026年前期までの（鉱物性燃料除く）貿易取引にはマイナスの影響を及ぼしていないと判断できる。

ただし、中国のベネズエラからの輸入額は、2025年後期の6億6341万ドルから2026年前期には6億0281万ドルへ9.1%減少した。

中国のベネズエラ向け輸出額も、2025年後期の28億8246万ドルから27億5140万ドルへ4.5%減少している。

もっとも、2023～2025年は基本的に後期の取引額が前期を上回っていた。

過去の傾向を踏まえると、2026年の後期も前期を超える取引額になるのかもしれない。

いずれにしても、鉱物性燃料を除くという前提で言えば、両国の貿易関係はおおむね拡大基調を維持していると評価するのが妥当だろう。

以上